令和８年度　　長浜農業高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・スクールミッション
①県北部の農業教育を担う農業高校として、地域や大学等と連携した農業教育により、地域で活躍できる人材を育成する学校
②農業教育を通して、他者を思いやる豊かな感性を育成する学校。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	本校は、学校の教育目標に基づき、保護者・地域から信頼される学校経営に努めている。	A		
	地域との連携を大切にし、農業高校の特色を生かした学校づくりを進めている。	A		
2　学習指導	全校での朝活動を通して落ち着いた学習環境を整え、規律ある授業態度の育成に取り組んでいる。	B		
	授業の目的を明確にし、生徒にとって分かりやすい授業づくりを実践している。	A		
3　生徒指導	基本的な生活習慣の確立を目指し、生徒一人ひとりに応じた生徒指導を行っている。	A		
	学校生活全般においてルールやマナーを守る規範意識の育成に努めている。	B		
	「いじめはどの学校・どの生徒にも起こり得る」という認識のもと、いじめを許さない学校づくりを進めている。	A		
4　進路指導	望ましい勤労観・職業観の育成を図り、生徒の進路目的意識の早期形成に努めている。	A		
	進路の手引きや資料を活用し、組織的な進路相談体制を整えている。	A		
5　特別活動等	生徒会活動やホームルーム活動において、生徒が主体的に計画・運営できるよう指導している。	A		
	学校農業クラブ活動や各種行事を通して地域との連携を深め、生徒の社会性を育成している。	A		
6　学校図書館	幅広いジャンルの図書を整備・活用し、生徒の読書習慣の育成に努めている。	A		
	図書館だより等による情報発信を行い、図書館利用の促進を図っている。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康と安全の確保に努め、事故・怪我・疾病等の予防および適切な対応を行っている。	A		
	教育相談や関係機関との連携を通して、支援体制の充実を図っている。	A		
8　人権教育	互いを尊重し合う、明るく生き生きとした学校・学習環境づくりに取り組んでいる。	A		
	中学校や関係機関と連携し、生徒の健全な育成に努めている。	A		
9　環境教育	校舎・校庭等の学習環境の維持改善に積極的に取り組んでいる。	B		
	冷暖房や照明の適正な使用などを通して、持続可能な社会の実現に向けた取組を実践している。	A		
10　事務・管理	文書管理・情報管理・施設設備管理を適切に行っている。	A		
	来校者や電話について、丁寧な対応に努めている。	A		
11　その他 学校の取組	食の安全・安心や環境負荷の軽減を意識した農業教育を推進している。	A		
	スクールミッションを見据えた魅力ある農場運営を行っている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.naganou-h.shiga-ec.ed.jp/